



## 目次

はじめに

注目すべき発表

OTAの5ドメイン、OTAのタイムライン、車両登録台数の予測、ソフトウェア対応サービス、OTAの改善 - その重点ポイントは?

OEMおよび市場概説

戦略的発表、OTAアップデートおよびソフトウェア関連のバグ修正、最新情報

OEMおよび市場概説

OTAドメインおよび機能別販売台数、OTAドメイン占有率とOEMの主な推進要因、デジタルコックピットとインフォテイメント、ADAS、コンフォート、ボディ、およびキャビン、パワートレイン、セキュリティ、その他、およびバグ修正、2021年販売車両のOTAリリース頻度、インストール所要時間、ベストプラクティス：ユーザーエクスペリエンス、コネクティビティチャネルと料金設定



Connected &amp; Mobility Services

レポート番号：#638

# OTA及びソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド

自動車業界では、OTA（Over-The-Air）やFOTA（Firmware-Over-The-Air）アップデートを車両開発およびライフサイクル戦略の中心に据える新規プレーヤーが増加しています。FOTAアップデートは従来のOTAアップデートとは異なり、車両のハードウェア機能を直接追加、または強化します。現在、TeslaなどのOEMの車両では、定期的なアップデートが提供されており、生産時にインストールされたソフトウェア機能やファームウェア機能のロックを解除することが可能です。

消費者ニーズの高まりを受け、世界各国の自動車メーカーが、将来の車両ラインアップ向けに同様のOTA戦略を採用または開発しています。こうした自動車メーカーが自動車のライフサイクルを通じて様々な電子制御ユニットを定期的に変更するようになるに伴い、製品企画・エンジニアリングチームが機能やプラットフォームの競争力を評価することはより困難になります。

本書では各OEMのOTAによる提供機能や対応モデル、リリースサイクルが流動的に変化している中、常に最新状況が把握できるよう、OTAに関する各OEMの最新動向を四半期ごとにまとめ提供します。また、現在OEMが提供しているアップデート、そのプロセスで利用されている技術についても紹介します。OTAを提供している車種をデータベースとしてエクセルに整理するとともにキーポイントをPPTレポートにまとめます。

## 関連レポート

ソフトウェア・ディファインド・ビークル：  
ビジネスモデル、コアテクノロジー、サプライチェーン  
レポート番号：636

本書ではソフトウェア・ディファインド・ビークルについて詳説するとともに、クロスプラットフォームソフトウェアによる継続的な更新および保守が可能な車両を構築するためには、どのようにプラットフォームやサービスを活用すべきかを検証する。

## 対象市場

欧州 北米 中国  
日本 グローバル その他

## レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 ワンタイム

## レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

## ページ数

29

## OTAアップデートの5つの車両ドメイン



デジタルコックピットと  
インフォテインメント



ADAS



コンフォート、  
ボディ、キャビン



パワートレイン



セキュリティ、その他、  
およびバグ修正

車両プラットフォームの近代化に伴い、車載ソフトウェアおよび電子部品をリモートでアップデートする技術が今後最も重要となる。OTA（Over-the-Air）技術はTeslaが2012年に発売したModel Sで初めて広く採用し、現在ではグローバルOEMが一定のレベルのリモートソフトウェアアップデート技術を自社の車両プラットフォームポートフォリオに統合している。広範なレガシープラットフォームを抱える場合、統合は非常に複雑となるため、大半のOEMは自社プラットフォームへのOTAアップデート機能の統合に対して慎重なアプローチを採っており、レガシーテクノロジー、コストの制約、サイバーセキュリティ関連の懸念などが取り組みを大きく抑制する要因となっている。全体的には、より一元化されたソフトウェア対応サービスへと向かう傾向がみられる。同時に、大半のOEMが電動化プログラムの研究開発に一層力を入れており、これにより、OEMのOTAアップデート機能はその対象範囲が車両アーキテクチャの深部へと広がっている。本書では、欧州、米国、中国におけるOTAアップデートに関するOEMの取り組みの状況、市場予測・動向についてのインサイトを提供する。

## SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへは  
お客様専用ポータルサイトから  
アクセスいただけます。

100+  
Reports published  
per year

50k+  
Slides of insights,  
forecasts & data

4,000+  
# of auto professionals  
who access our reports

ポータルサイトのアカウントはご契約  
企業ごとに作成され、ご契約  
企業に所属する方であれば登録  
ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータル  
サイトへの新規ユーザー登録を  
ご希望の場合は、SBD  
Automotive ジャパンまでお問い  
合わせください。



2022年Q1版  
OTA及びソフトウェアアップデートによる  
機能提供の最新動向ガイド  
米国

発行年月：2022年5月  
レポート番号：638USA-22-Q1

本書に関するお問合せ・お見積り依頼  
「OTA及びソフトウェアアップデートによる機能提供の最新動向ガイド」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

